



し しん かい 志真会 会報 2024 2月発行

滑川市議会議員

寒さが厳しい折、滑川市民の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。我々志真会には平素より格別なお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

令和6年となり早1月半経ちました。元旦には、これまでに経験したことのない地震と津波警報による恐怖と不安で、多くの方が避難されたことと思われます。私たちも避難所開設等に尽力させていただきました。ただ、能登の甚大な被害を報道等で見ると心が痛みます。県内においても氷見や高岡での被害が顕著であり大きいのですが、滑川市内においても液状化現象などが確認され、100件近くの家屋の被害が確認されております。公共施設においても大小さまざまな被害が出ました。被害にあわれた全ての皆様に対しまして、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧を心からお祈り申し上げます。私たちも復旧に向け全力で取り組む所存でございます。

さて、前回の令和5年12月度定例議会から新しい議会構成となり、当会派志真会から青山幸生議員が副議長に選出されました。また、常任委員会、特別委員会等も構成が変わりました。以後2年間、この新体制にて議会を運営していくこととなります。改めて、12月度定例議会にて補正予算等の議案が原案通り全会一致で可決しました。

令和5年12月度の補正予算額

一般会計 6億4715万円（内 滑川市一般財源 6億428万円）

① 財政調整基金への積立金 5億6813万円

財政調整基金とは、年度間の財源の不均衡を調整するための積立金です。財源に余裕のある年度に積み立てを行い、大規模災害の発生や大幅な収支減などがある年度に取り崩しを行います。12月定例議会での大半の予算は、この財政調整基金であり、これにより年度末での積立残高は、23億7027万円となる見込みではありますが、この度の震災における見舞金や修繕費等で3月議会では取り崩す見込みです。

② 公共施設整備基金への積立金 4,600万円

公共施設整備基金とは、公共施設等の整備を図るための積立金です。図書館、公民館、学校、公園などの公共施設、地区会館などの公共的施設の整備に活用します。年度末での積立残高は、12億4342万円となる見込みではありますが、財政調整基金同様に修繕費等で3月議会では取り崩す見込みです。

③ 公共施設への施設運用協力金（電気料等）3,623万円

国の補助金等を利用して指定管理者が運営する公共施設へ燃料費高騰における電気料等への補助を決定いたしました。

以上簡単ではございますが、12月度議会の1部内容をお伝えさせていただきました。まだまだ寒さが続くと思われますが、皆様のご健康で本年もますます躍進されますことを心からお祈り申し上げます。また、次回3月定例議会は、土曜議会があります。3月9日（土）10時から一般質問を行いますのでお時間の許される方は、この機会に傍聴いただけたらと思います。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

竹原正人 議員



議会で質問した内容

12月定例会では、令和6年度の予算編成方針における市長の考え方について重点的に質問をしました。市長からは、『すべらない』新規重点枠を設け、要求上限なしでいろいろな事業提案を受け、限られた予算の中で具現化していくとの答弁でした。義務的経費が年々増加し、将来的に人口減少になる事から、継続事業の見直しはもちろんですが、少子化対策にもっと政策展開をしていかないと、将来人口が減り、自治体として成り立っていかないと考えています。現在、滑川市の子育て施策は充実していると思いますが、国の異次元の子育て政策を上回る滑川の地域性を考え、充実した施策を提案していきます。

最近気になること 12月定例会終了後、会派として令和6年度の予算要望を提出しました。どれだけの要望を事業化して頂けるのか気になります。

大浦豊貴 議員



「共助」消防団に関する認知について

これまでも災害時におけるボランティアや自治体、自主防災会などをはじめ、地域の人たちが協力し避難から支援・復旧等、生活をつなぐための「共助」については議論されてきたところです。国では、阪神・淡路大震災や東日本大震災の経験等を踏まえ、平成25年「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が制定されています。この度の能登半島地震では、家族を非難させた後、自宅に戻り出動準備していたところ家屋の下敷きとなり一人の消防団員の命が奪われたことは誠に残念でなりません。消防団は、ボランティアとしての性格も有しますが、地域における消防防災の中核的存在です。しかし、一定の団員数を確保することは課題となっており、令和3年の富山県「消防団員の確保対策に関する県民意識調査報告書」では、約8割の方が「入団しない・できない」と報告されています。また、その活動内容は認知されていなく、「面倒・制度が古い・魅力がない」との意見もありました。そのような中でも今、各地域で地域のために活動を続ける団員の存在や、このまちにも地域住民のために活動する消防団員がいることを知っていただきたいです。

谷崎潤一 議員



議会で質問した内容

12月議会では総合体育センターにおける障がい者スポーツのハード面・ソフト面を含めた受け入れ態勢や支援体制、また令和6年度に向けた市内小中学校の予算を含めた熱中症対策などを質問しました。総合体育センターや隣接するサンアビリティーズ滑川では、滑川市在住の個人方は無料で利用可能であるが、代表が滑川市在住であっても市外の方が所属するスポーツ団体の利用は無料にならないとの返答でした。引き続き市外、市内関係なく団体スポーツでも無料になるよう要望していきたいと思っております。

熱中症対策としては、運動会の開催時期の見直し、学校施設における熱中症対策など、予算を含めた良い回答をいただきました。今後も子ども達が安心して学校生活がおくれるように教育委員会に提案してまいります。また子ども達だけではなく滑川市民の皆様が安心して暮らせる提案を引き続き提案していきます。

最近気になること 令和6年能登半島地震での避難所の対応など迅速な対応は見られたが、問題点も浮き彫りになったことを改善できるように滑川の皆様アンケート調査をしていただきたい。

吉森真人 議員



議会で質問した内容

12月議会では大きく3つについて質問しました。①「滑川市の農業について」滑川市は水稻を耕作する農家が大半を占める中、農業経営体の数は、15年間で817件減少し412件と3分の1になっており、担い手不足及び耕作放棄地の問題が深刻化しています。国は概ね5年後には、農業が崩壊してしまう危機にあると警鐘を鳴らしており、市の行っている対策の確認や私の考える提案をさせていただきました。②「放課後児童クラブについて」私立の放課後児童クラブが1件、昨年11月末に閉鎖となり、その対応としてメリカにて3月末まで急遽放課後児童クラブが開設されました。そのクラブおいての運営状況を確認し、問題なく活動できていると答弁がありました。③「SDGs 未来都市について」2024年度が最後の未来都市選定の年となっており、今年度は落選した本市ではあるが、次回も選定に向けて行動するのかを質問しました。前回の反省点を修正し、次回の選定に向けて動いているという返答をいただきました。

最近気になること SNSでバズるには、どうしたらいいのか。

安達真隆 議員



議会で質問した内容

12月議会では大きく分けて4つの質問を致しました。

①児童生徒の携行品に係る配慮（置き勉）について質問致しました。朝日町のらくらく登校実施の事例を紹介し、滑川市でも導入できないか質問致しました。水野市長からは朝日町の取り組みを参考に今後滑川市でも検討していく旨の答弁がありました。②ほたるい海上観光について質問しました。今年は海上観光一隻での運行になるとの情報を得たので真相は今後どうなるのか聞いたところ、今年は一隻で運航をするが来年度以降はまた協議していくとの答えでした。③道路除雪の今後については、高齢化社会の中で現状は運転手不足となっており、免許取得に補助金制度を考えていけないかの質問をし、県や他市町村を参考にしたいとの答弁をいただきました。④消防団の長靴などの備品の更新は考えていないかを問いただしたところ、災害現場での安全性を踏まえてより良い安全性の高いものへ更新も視野に検討していくとの答弁をいただいたところです。

最近気になること 能登半島地震を経験して防災意識の向上

青山幸生 議員



議会で質問した内容

12月議会では、①健康寿命延伸について ②10年後を見据えた教育について ③持続可能な財政についての三項目を質問しました。①についてはLINE版「暮らしの保健室」の設置の経緯と進捗と特定健康診査及びがん検診の受診率を向上について市の見解を聞きつつ、受診率向上の提案を致しました。②については Society5.0 時代の到来に向けて、どのような学校教育を進めて子ども達の「生きる力」を育むことができるかを議論しました。また、③については市長提案理由の記載してあった「令和6年度予算の仮試算において地方税や地方譲与税などは増加と見込まれているものの、市税の大幅な増加は期待できない」としており、その詳細を質問しました。財政課長からは個人、法人ともに固定資産税の増加は見込まれるが、物価上昇や経済の先行き不安により、市民税の増加は見込めない旨の答弁でありました。

これら3項目は目先の課題や将来のリソースにおいて重要なものとなります。今後多くの提案をしていきたいと思っております。

最近気になること 能登半島地震の継続的な支援